

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 532

政策体系	32	事業分類	施設管理費	所管部局	土木建築部 都市計画課
会計	一般会計	科目	8. 土木費 - 4. 都市計 - 1. 都市計 現年		
事業名	放置自転車等対策事業				
細事業名	放置自転車等対策事業				
				評価表作成者	土木建築部 都市計画課 石田 真包

1. 事業の概要

公共の場所における自転車等の放置を防止することにより、市民の良好な生活環境を確保するとともに、都市機能の維持及び増進に寄与することを目的とする。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

市民の良好な生活環境を確保するとともに、都市機能の維持及び増進の効果。

② 事業を実施する必要性

放置自転車は高齢者・幼児などの歩行の障害になるだけでなく、車椅子利用者にとっても大変危険である。南丹市放置自転車等の防止に関する条例に沿って撤去、処分し市民の良好な生活環境を確保するとともに、都市機能の維持及び増進を図る。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円	52	61	92	36	158	60	60
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	50	27	2	2	2
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	52	61	42	9	156	58	58
職員等の従事人員		人/年	—	0.30	0.15	0.15			
人件費		千円	—	1,763	891	1,079			
事業費総額		千円	—	1,824	984	1,115			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

自転車等廃棄処分	35,700円（手数料）
----------	--------------

5. 事業結果の概要

放置禁止区域（JR園部駅周辺）で放置された自転車等所有者に対し啓発等をおこない、生活環境の確保を行った。
 また改善されない自転車等について、保管（3ヶ月）後34台を処分した。

6. 活動の詳細

1. 環境整備		
放置禁止区域（JR園部駅周辺）で放置された自転車等所有者に対し啓発等を行い、改善されない場合は撤去、保管（3ヶ月）後処分を行った。	警告エフの貼り付け等、年間の管理（監視）を行った。	市民の良好な生活環境を確保すると共に、都市機能の維持及び増進の効果が得られた。 撤去回数 2回 撤去台数自転車 42台 バイク 1台 処分台数自転車 34台 処分費用 36千円

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

放置自転車への啓発により、放置自転車がなくなるよう取り組みを進めた。今後も放置自転車の撤去の強化に努める。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

- 前年度から改善した点
昨年度より引き続き、放置自転車をなくす取り組みを進めた。
- 今後の展開
放置自転車の撤去の強化並びに八木駅周辺において禁止区域の指定についての取り組みを進める。

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
特になし
- ②当該事業のアピール事項
禁止区域の看板設置。放置自転車への啓発により放置自転車をなくなるよう取り組みを進める
- ③反省点、今後の展開・方向性等
放置自転車の撤去の強化並びに八木駅周辺において禁止区域の指定を行なう必要がある。